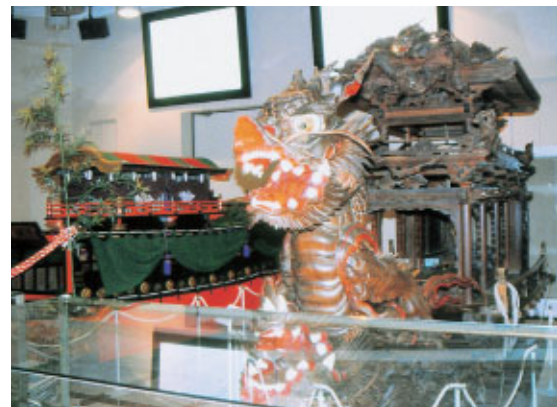


ふるさと探訪 ①



旧警察署を利用した洋館建の海遊文化館



館内に展示してあるだんじり

海遊文化館

日本のエーゲ海 うしまどは、「美しい窓」とたえられ、古くは万葉の時代から、風待ち・潮待ちの港町として栄え、特に江戸時代には、参勤交代の大名や朝鮮通信使が寄港していった。今なお、当時の歴史的文化遗产が数多く残されています。

海遊文化館は、旧牛窓警察署本館を利用した洋館で、館内の展示は大きく二つに分かれていて、朝鮮通信使

資料室には、善隣友好の貴重な全国の資料や牛窓に寄港したところの文化遗产が数多く展示されています。

だんじり展示室は、町内にある県指定重要有形民俗文化財のだんじり8基の内、常時2基のだんじりが展示されています。いずれも船型で江戸時代末期から明治時代初期につくられ、中国の「四霊」(麟鳳龜竜)などをモチーフとする精密な彫刻が施されています。



利用のご案内

- 所在地** 牛窓町牛窓3056
☎34-5505
- 開館時間** 午前9時～午後5時
(入館時間は4時30分まで)
- 休館日** 毎週水曜日(7・8月は除く)
- 入館料** 大人300円、
学生(小・中・高)150円

編集後記

▼瀬戸内市が誕生しました。皆さんに瀬戸内市のことを知ってもらうため、広報「せとうち」とホームページで情報発信したいと考えています。市内の地理や歴史など、覚えることが山積しています。瀬戸内市の良さや皆さんの頑張りを伝えるためにも、頑張りましょう。皆さんの声を聴かせてください。地図を片手に、あなたのもとへ伺います。

知子

▼皆さん、初めまして。瀬戸内市が誕生し、私も心機一転です。職場の雰囲気も変わり、周りにいる方も知らない人ばかり。でも、頑張らないと。広報「せとうち」を手にとって読んでいただけるように、毎月楽しみにしてください。一人でも増えるように。皆さんの話を伺いにおじゃまします。その節はよろしく願います。

恭子

